

**鋁工業指数 参考資料**  
**(平成27年1月確報)**  
**～生産は緩やかな持ち直しの動き～**

平成27年3月13日  
経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 平成27年1月 稼働率・生産能力指数の状況

月次	稼働率	能力
季調済指数	105.5	95.3 (原指数)
前月比	3.6%	0.3%
指数水準	H26.1 107.7以来  I H20.2 119.4 II H20.1 118.8 III H20.3 118.7	<b>22年基準 ⑤</b> ⑤ H26.5 95.3以来 (超) ⑦ H26.3 96.1以来  I H20.11 102.0 II H20.12 101.9 III H20.7 101.8
前月比の動き	2か月連続+ (H26.12～当月)	2か月連続+ (H26.12～当月)  3か月連続▲なし (H26.11～当月)  ・直近で2か月連続+ (H25.9～11 3か月連続+以来)
前月比幅	<b>22年基準 VI</b> VI H26.9 3.6%以来 (超) IV H26.1 6.2%以来  I H23.5 14.4% II H21.4 9.8% III H23.6 6.5%	<b>22年基準 II</b> I H25.10 0.4%以来  I H21.10, 25.10 0.4% II H20.11, 23.10, 25.9 0.3%
前年同月比(原指数)	▲ 3.2%	▲ 0.7%
前年同月比の動き	2か月ぶり▲ (H26.11以来)	39か月連続▲ (H23.11～当月)  52か月連続+なし (H22.10～当月)  ・直近で39か月連続▲超 【H11.2～H17.4 75か月連続▲】
前年同月比幅	H25.4 ▲4.2%以来  ①H21.2 ▲43.9% ②H21.3 ▲40.5% ③H21.1 ▲35.0%	H26.12 ▲2.2%以来  ①H26.11 ▲2.4% ②H26.10 ▲2.3% ③H26.12 ▲2.2%

1) ▲はマイナス

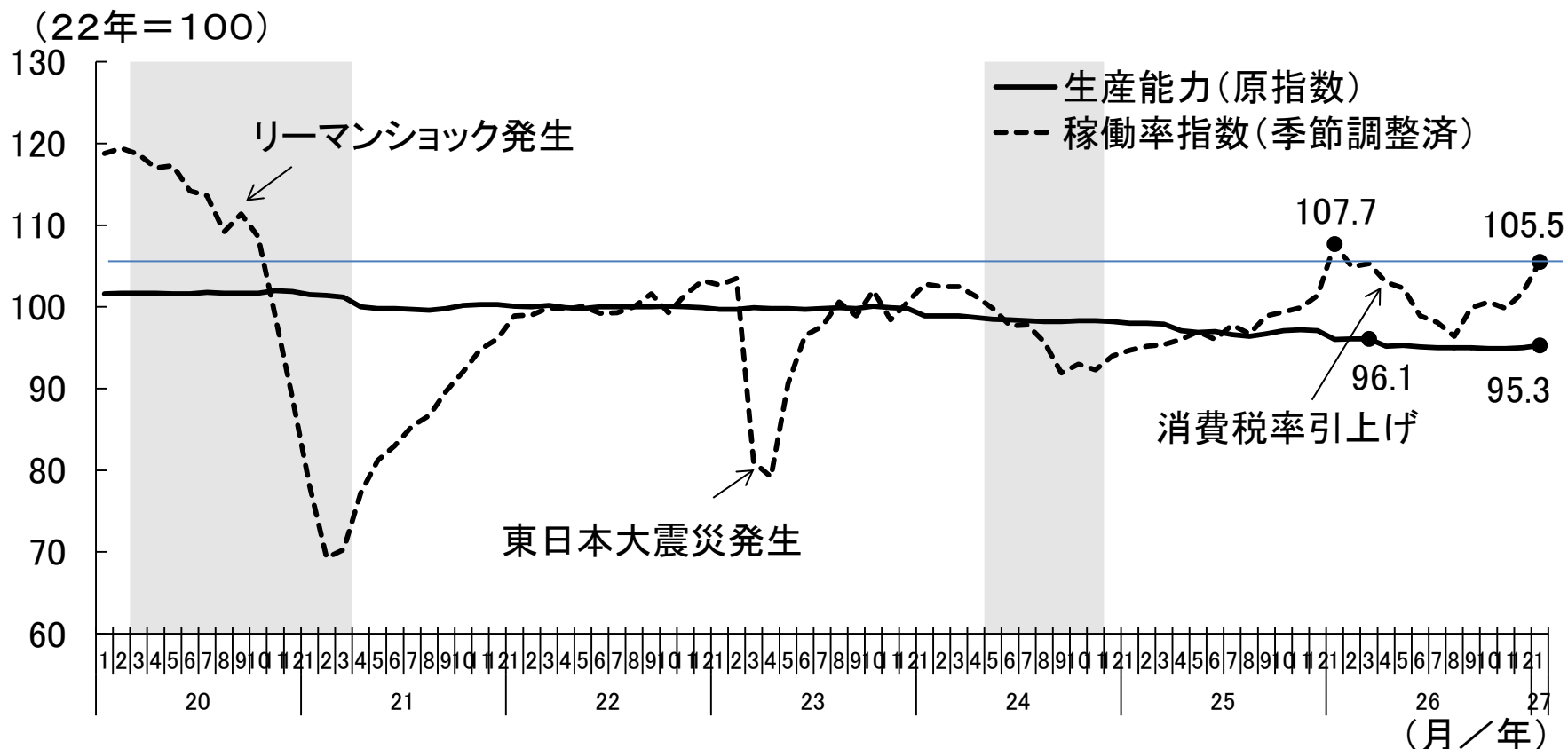
2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

3) 【 】内は22年基準以外

# ○製造工業生産能力指数・稼働率指数

## 製造工業生産能力・稼働率指数の動向

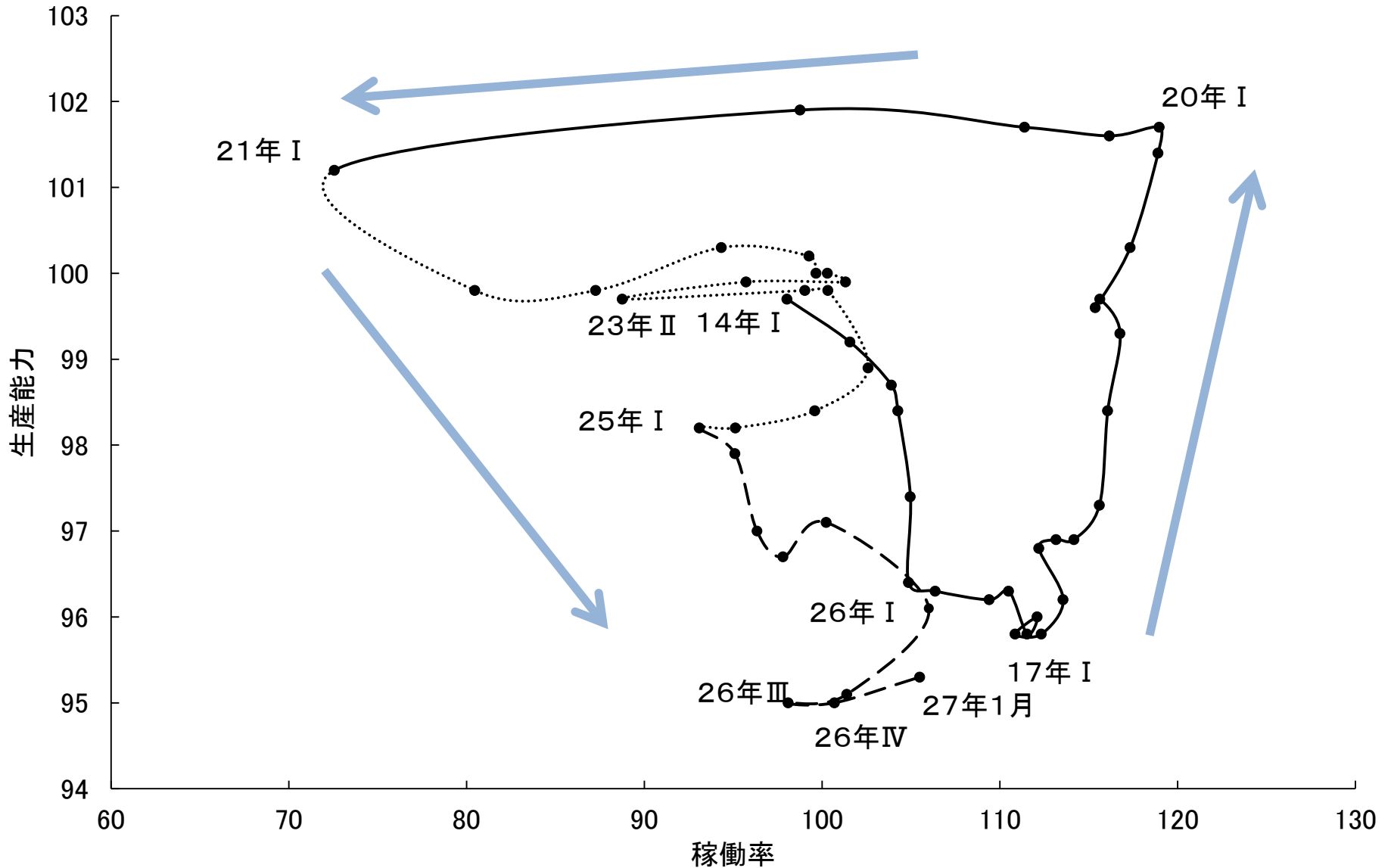
- 平成27年1月の稼働率指数は105.5(前月比3.6%)と2か月連続の上昇。平成26年1月の107.7以来の指数水準。
- 平成27年1月の生産能力指数は95.3(同0.3%)と2か月連続の上昇。平成26年3月の96.1以来の指数水準。



(注) 1. 製造工業生産能力指数・稼働率指数とは、月々の製造工業の生産能力、稼働率を基準年(現在は平成22年)の12か月平均=100として指数化したもの。

2. シャド一部分は景気後退局面。24年5月~11月は暫定。

# 生産能力－稼働率の循環関係(22年=100)

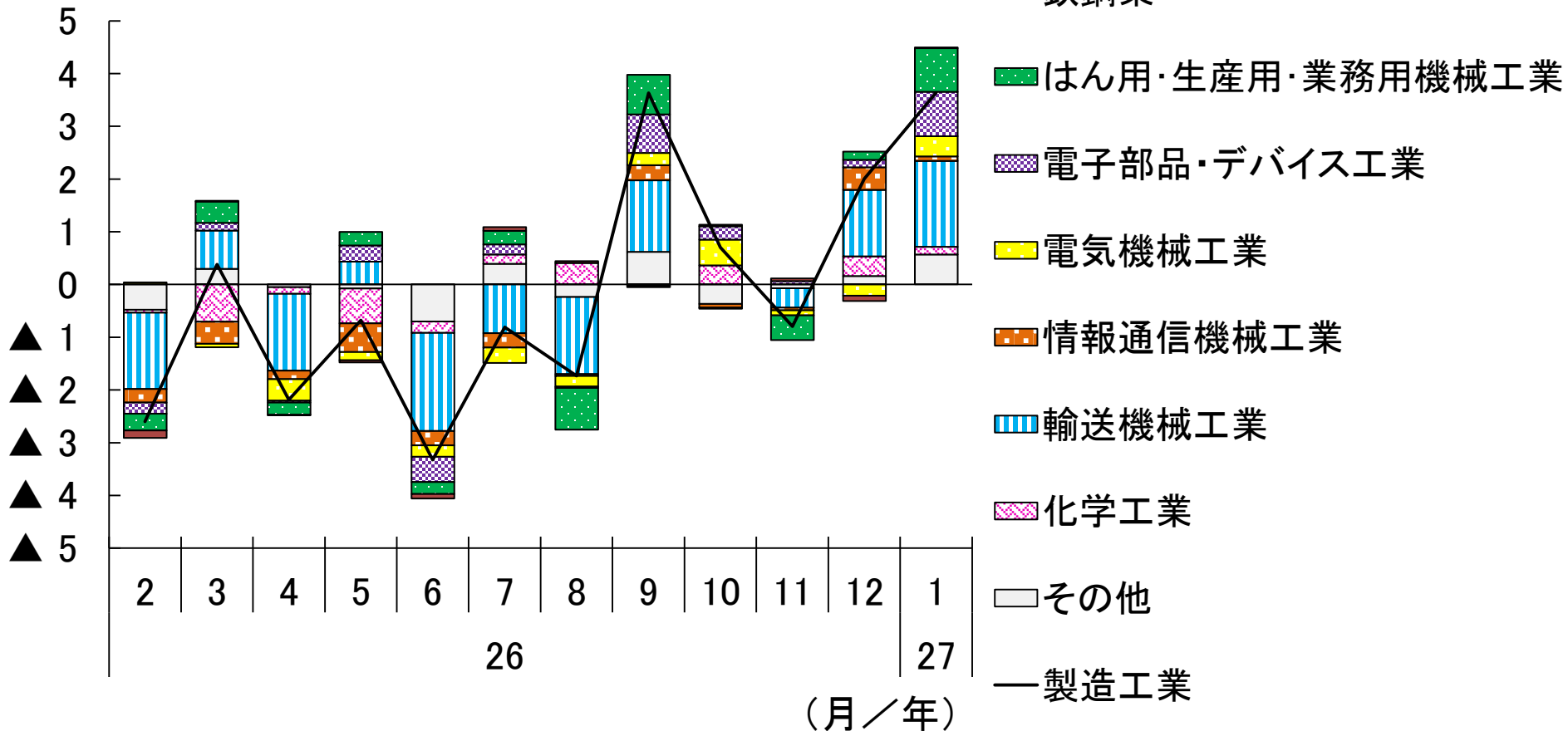


注:稼働率指数は季節調整済。生産能力指数は期末(27年1月のみ月末)。

# 稼働率指数への業種別寄与度分解

- 平成27年1月の稼働率指数(前月比、季節調整済)は、輸送機械工業などが上昇したため、前月比3.6%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、その他工業が含まれる。

# 平成27年1月(確報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	102.4	103.7	111.2	108.2
前月比	3.7%	5.6%	▲ 0.4%	▲ 3.4%
指数水準	H26.1 103.9以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H26.1 104.4以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H26.6 110.6以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12,22.9 99.1	H26.5 107.8以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月連続+ (H26.12～当月)	2か月連続+ (H26.12～当月)	2か月連続▲ (H26.12～当月)	2か月連続▲ (H26.12～当月)
前月比幅	<b>22年基準 V</b> IV H26.1 3.9%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	<b>22年基準 II</b> I H23.6 8.0%以来 I H23.6 8.0% II H23.5, 27.1 5.6% III H26.1 5.1%	H26.12 ▲0.7%以来 ①H23.3 ▲5.8% ②H21.2 ▲3.9% ③H21.3 ▲3.1%	H26.12 ▲4.3%以来 ①H23.6 ▲11.7% ②H21.6 ▲6.7% ③H21.3, 26.9 ▲6.0%
前年同月比(原指数)	▲ 2.8%	▲ 2.1%	5.8%	8.9%
前年同月比の動き	2か月ぶり▲ (H26.11以来)	2か月ぶり▲ (H26.11以来)	9か月連続+ (H26.5～当月) ・直近で9ヶ月連続+超 22か月連続+ (H23.5～H25.2)	6か月連続+ (H26.8～当月) ・直近で6ヶ月連続+超 10か月連続+ (H24.6～H25.3)
前年同月比幅	H26.11 ▲3.7%以来 ①H21.2 ▲37.2% ②H21.3 ▲32.7% ③H21.4 ▲30.0%	H26.11 ▲4.5%以来 ①H21.2 ▲36.1% ②H21.3 ▲32.1% ③H21.1 ▲30.9%	H26.12 5.9%以来 I H24.3,4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H26.11 12.2%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

1) ▲はマイナス

2) I～Ⅲは22年基準における最大値から3位まで、①～③は最小値から3位までの数値

3) 【 】内は22年基準以外

# 平成27年1月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」

## 基調判断の推移

- ・平成25年9月～26年3月  
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成26年4月～5月  
「生産は横ばい傾向」
- ・平成26年6月～8月  
「生産は弱含み」
- ・平成26年9月～11月  
「生産は一進一退」
- ・平成26年12月～  
「生産は緩やかな持ち直しの動き」

※3か月ぶり上方修正

## 鉱工業生産指数

四半期ベース

(平成22年=100、季節調整済)

	指数	前期比 (%)
平成25年 IV期	99.6	1.8
平成26年 I期	102.5	2.9
II期	98.6	▲ 3.8
III期	96.7	▲ 1.9
IV期	98.3	1.7
平成27年 I期	(101.4)	(3.2)

(注)

上記の平成27年I期の( )及び右表の平成27年1月、2月の( )内の数字は、製造工業生産予測指数の伸び率をそのまま鉱工業生産指数の最新月に適用して、機械的に計算したものである。製造工業生産予測指数は、鉱工業指数の対象のうち一部の企業に対して、今後の生産計画を調査したものの。

月次(3か月移動平均値)ベース

(平成22年=100、季節調整済)

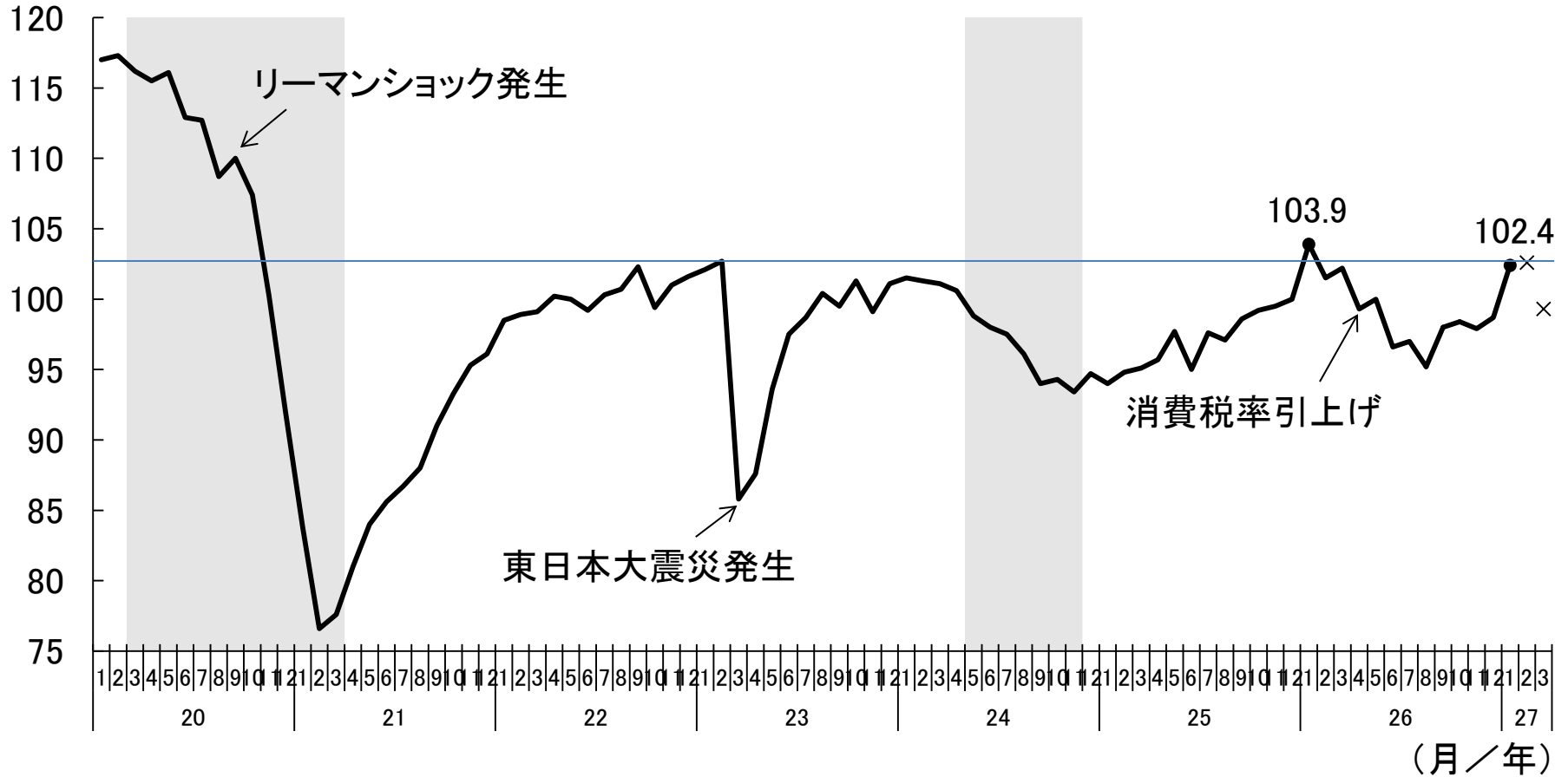
	指数	前月比 (%)
平成25年 3月	95.2	0.6
4月	96.2	1.1
5月	96.1	▲ 0.1
6月	96.8	0.7
7月	96.6	▲ 0.2
8月	97.8	1.2
9月	98.3	0.5
10月	99.1	0.8
11月	99.6	0.5
12月	101.1	1.5
平成26年 1月	101.8	0.7
2月	102.5	0.7
3月	101.0	▲ 1.5
4月	100.5	▲ 0.5
5月	98.6	▲ 1.9
6月	97.9	▲ 0.7
7月	96.3	▲ 1.6
8月	96.7	0.4
9月	97.2	0.5
10月	98.1	0.9
11月	98.3	0.2
12月	99.7	1.4
平成27年 1月	(101.2)	(1.5)
2月	(101.4)	(0.2)

# ○ 鋳工業生産 (IIP)

## 鋳工業生産指数の動向

- 平成27年1月の生産指数は102.4(前月比3.7%)と2か月連続の上昇。
- 平成26年1月の103.9以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



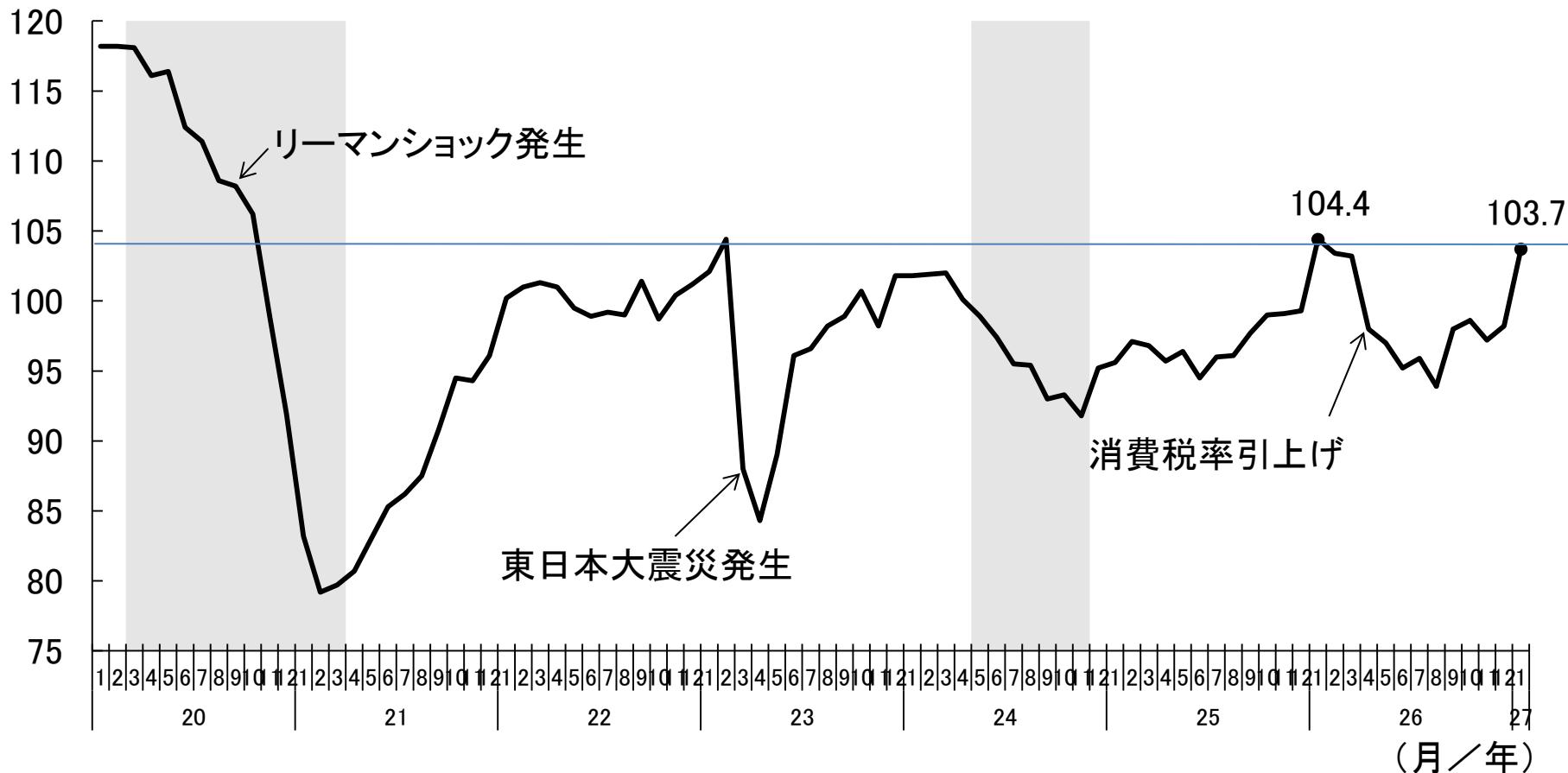
- (注) 1. 鋳工業指数 (IIP) とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年 (現在は平成22年) の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. ×は「製造工業生産予測調査」における2か月の前月比の値を鋳工業生産指数にあてはめて計算した予測値。
3. シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。



# 鉛工業出荷指数の動向

- 平成27年1月の出荷指数は103.7(前月比5.6%)と2か月連続の上昇。
- 平成26年1月の104.4以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

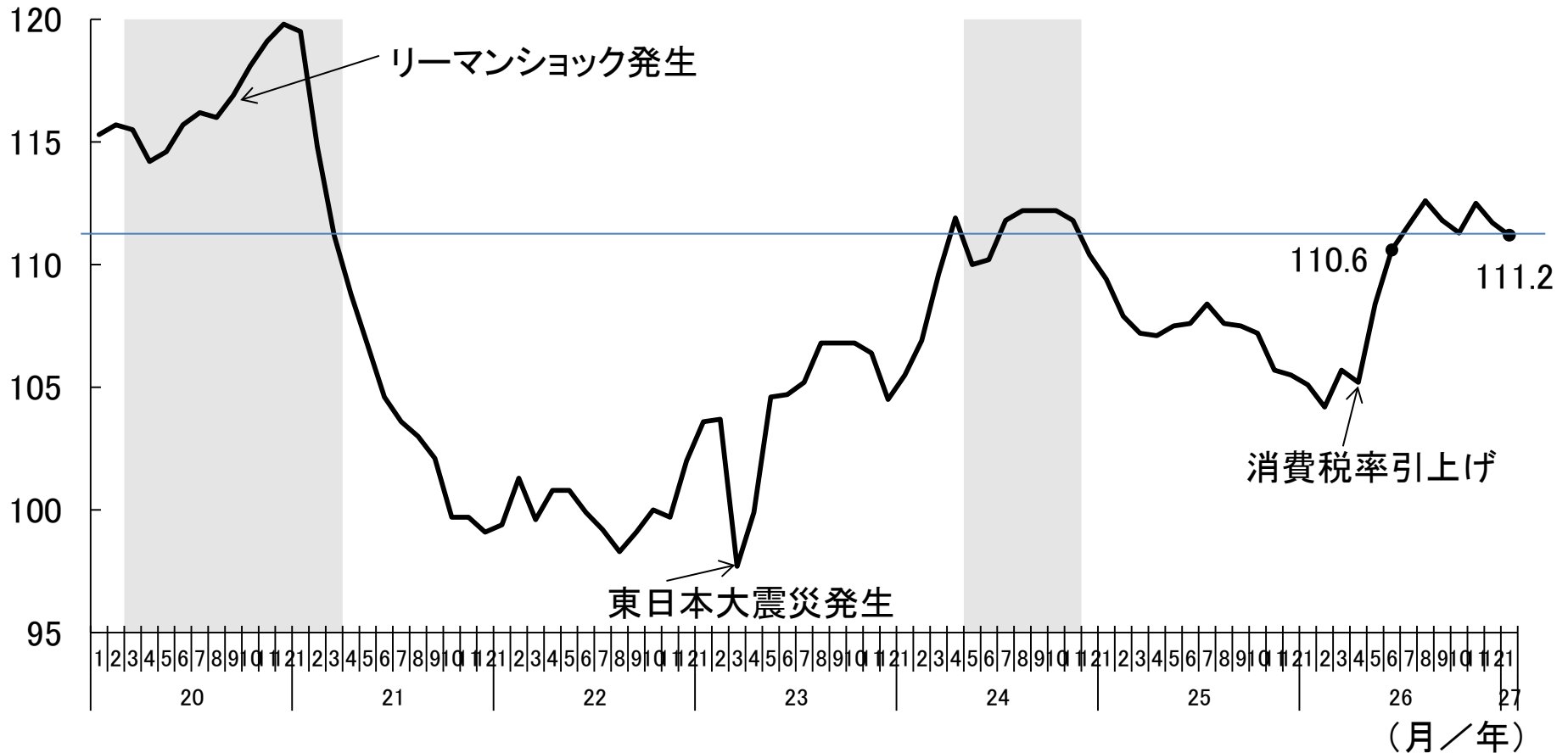


(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 鋁工業在庫指数の動向

- 平成27年1月の在庫指数は111.2(前月比▲0.4%)と2か月連続の低下。
- 平成26年6月の110.6以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



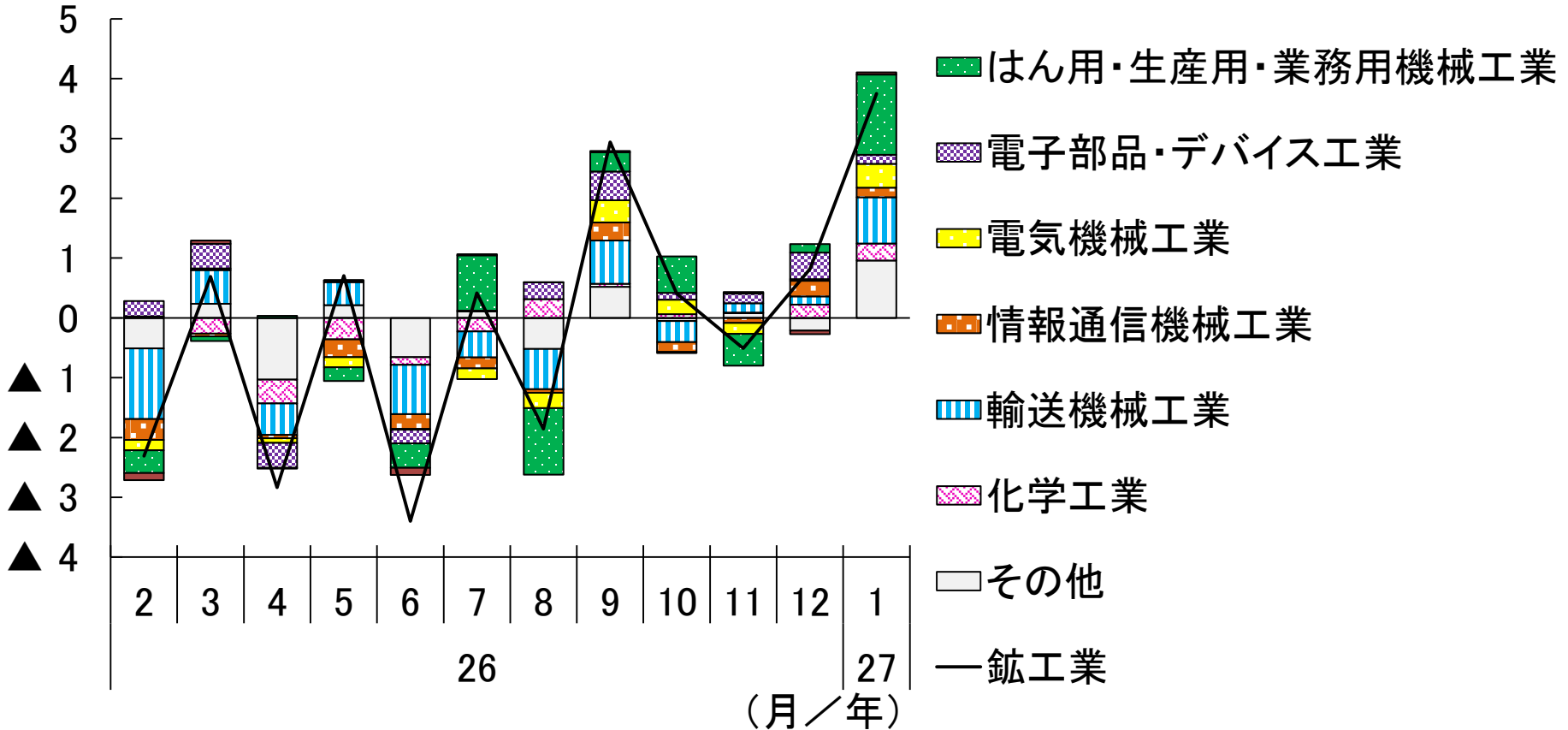
(注)シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。



# 鋳工業生産への業種別寄与度分解

- 平成27年1月の生産指数(前月比、季節調整済)は、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前月比3.7%の上昇。

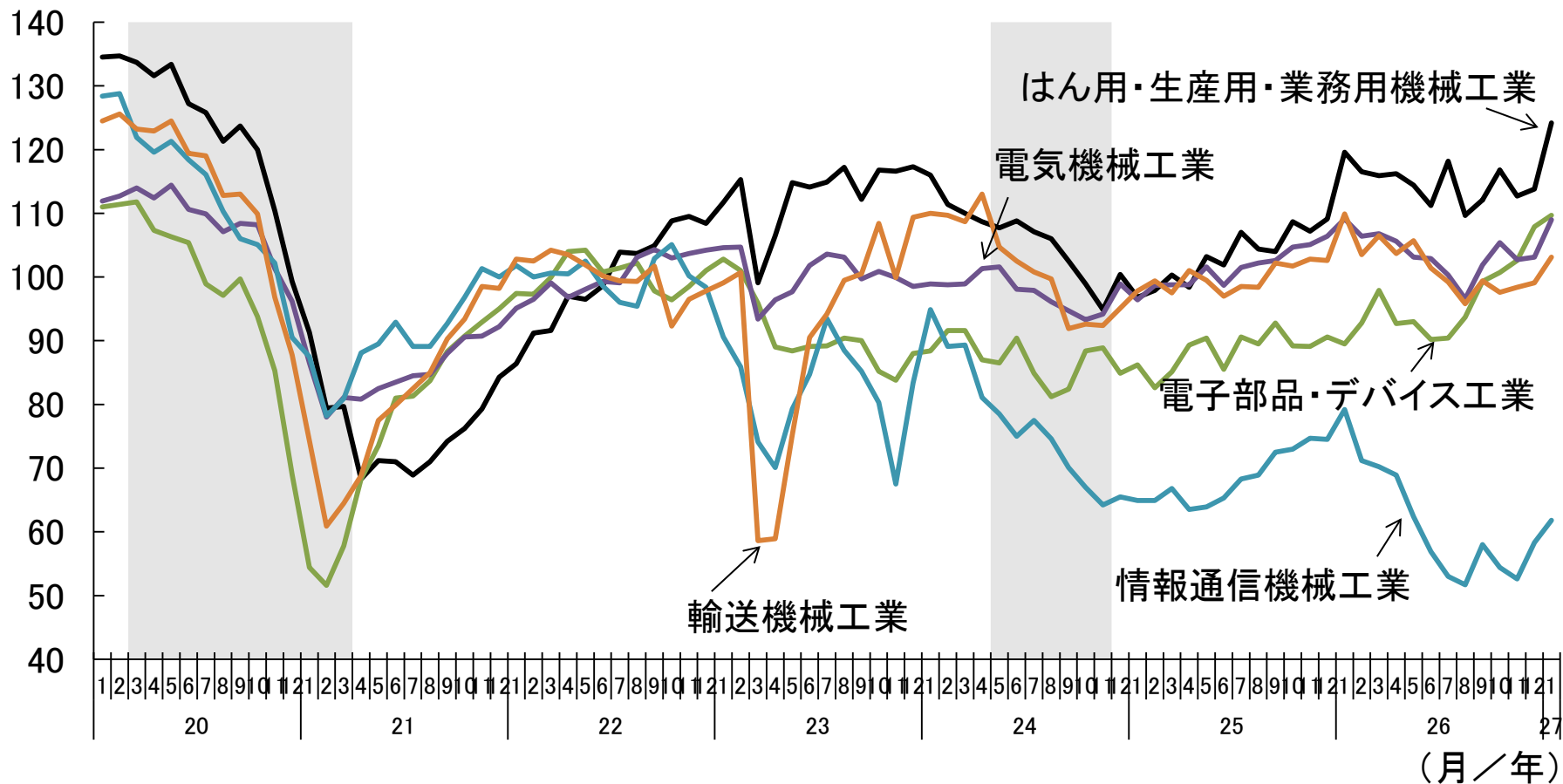
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



注:その他には、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業、食料品・たばこ工業、その他工業、鋳業が含まれる。

# 加工型業種の生産指数動向

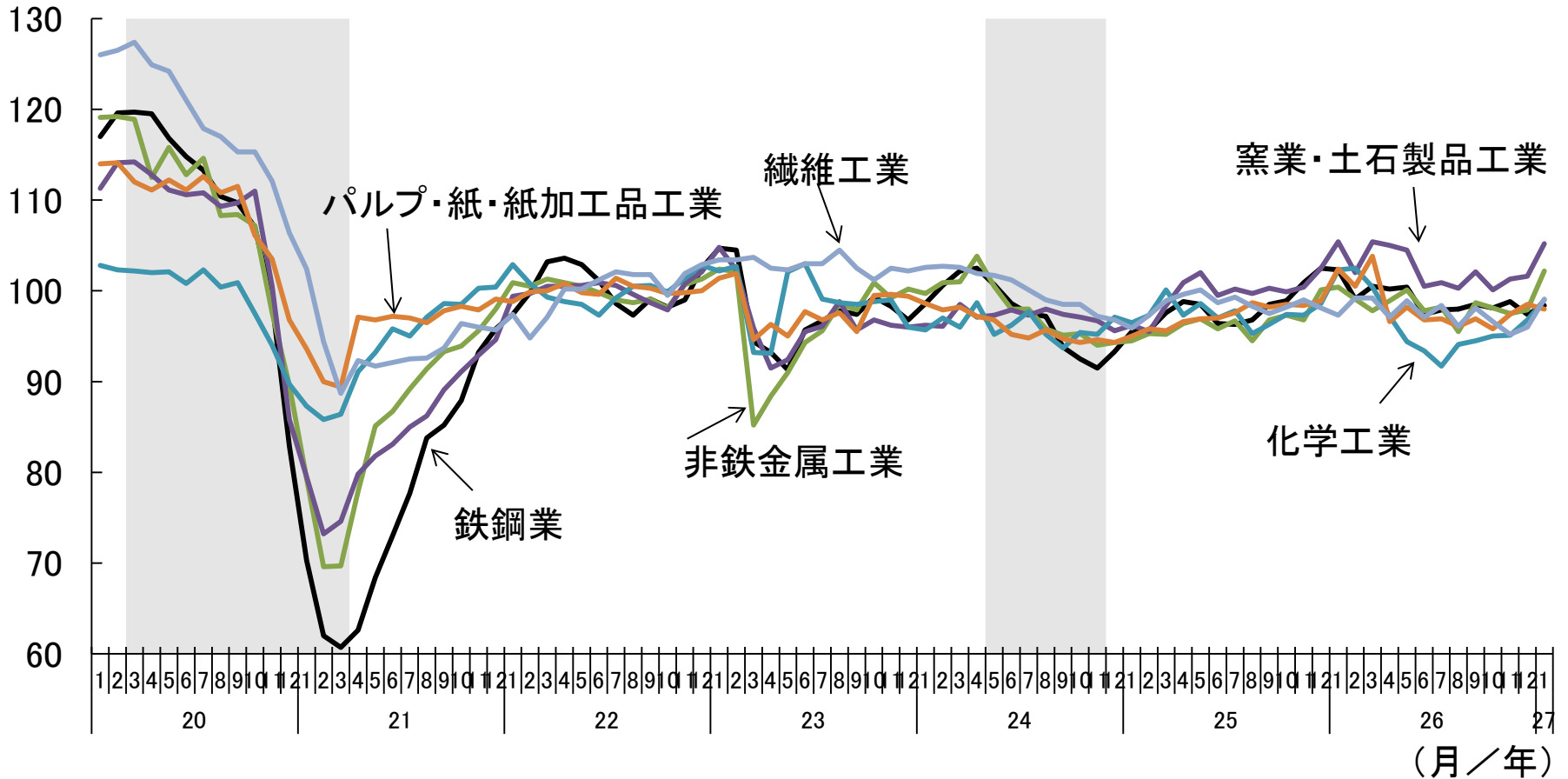
(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 素材型業種の生産指数動向

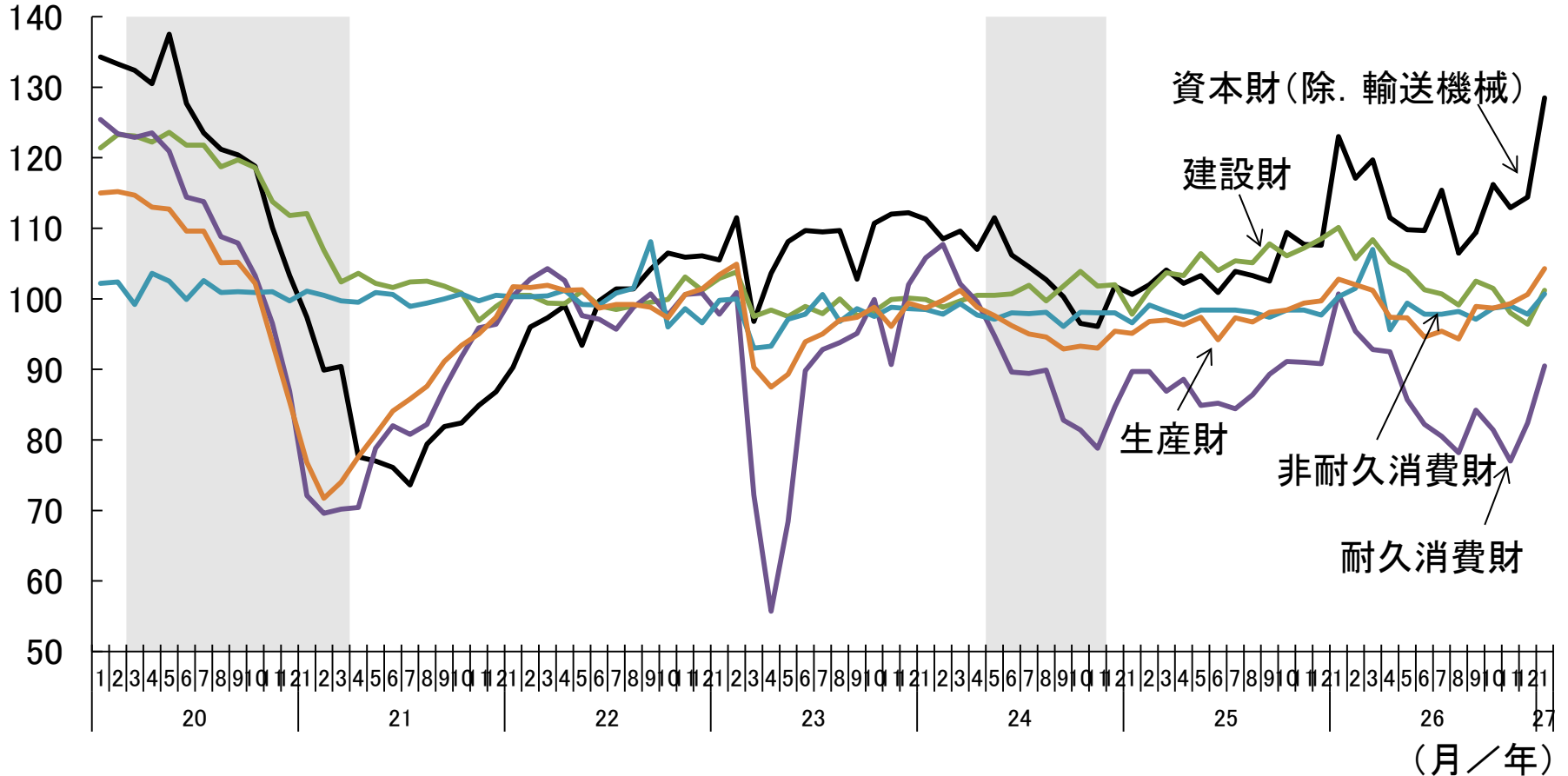
(22年=100、季節調整済)



(注)シャドー部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

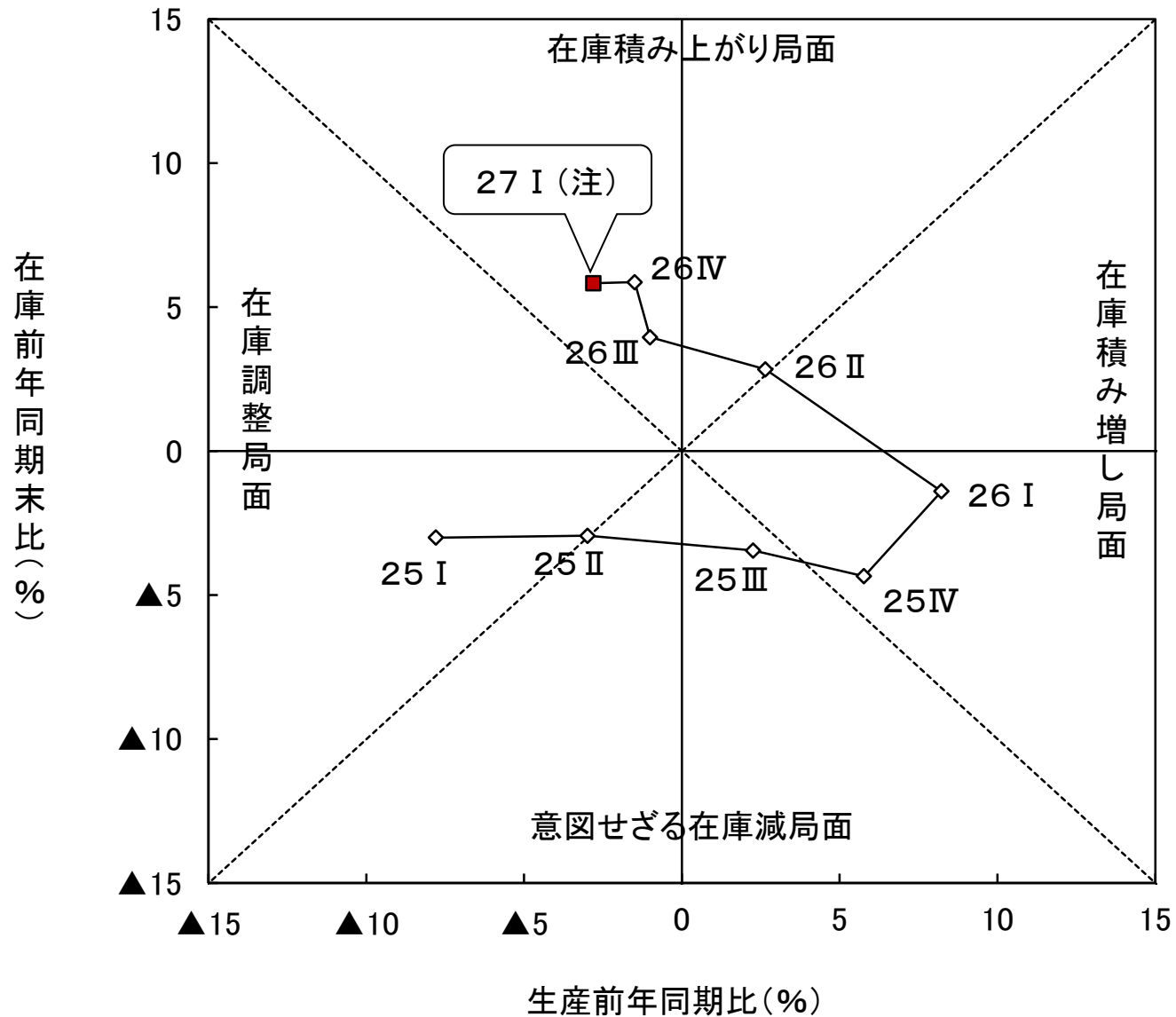


(注) 1. 財の概要

- ・資本財(除. 輸送機械): クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品
- ・建設財: 鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品
- ・耐久消費財: テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品
- ・非耐久消費財: 食料品や衣料品など家計で購入される製品
- ・生産財: 原材料として投入される製品

2. シャド一部分は景気後退局面。24年5月～11月は暫定。

# 鋳工業の在庫循環図

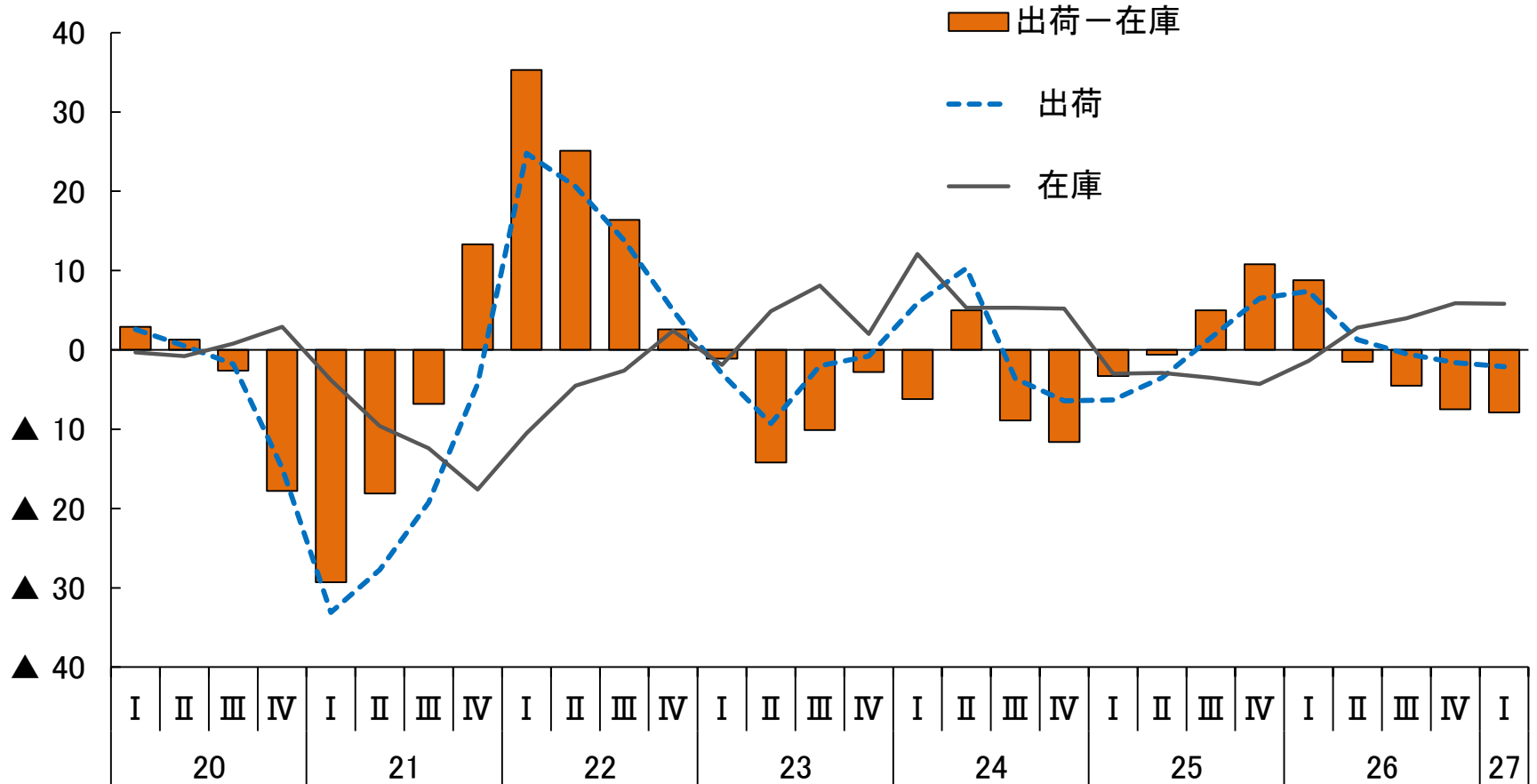


(注)27年 I 期は、生産、在庫ともに27年1月値を使用。



# 出荷－在庫バランス

(前年同期比、%、%ポイント)



(期／年)

- (注) 1. 出荷－在庫バランス＝出荷前年同期比－在庫前年同期比  
 2. 27年 I 期は、1月値。